



2021年8月5日

各位

会社名 株式会社 モダリス
 代表者名 代表取締役社長 森田 晴彦
 (コード: 4883、東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員 CFO 小林 直樹
 (TEL. 03-6822-4584)

MDL-206 の共同研究開発契約期間の満了と自社モデルパイプラインへ追加するお知らせ

当社は、本日付でアステラス製薬株式会社(以下、アステラス製薬といいます。)より、2020年から進めていた MDL-206 の共同研究開発契約を延長しない旨の通知を受領しました。また、本日開催の取締役会において、自社モデルパイプラインとして新規に MDL-206 を追加することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、当社のパートナーであるアステラス製薬より、MDL-206 の共同研究開発契約期間の満了に当たって、共同研究開発契約の延長及び当該パイプラインに関するライセンス契約の交渉権の行使を戦略上の理由により行わないとの通知を受領しました。

一方で、1)エンジェルマン症候群を対象とし CRISPR-GNDM[®]技術によって創製された分子がマウス in vivo 試験において Proof-of-Concept を確認していること、2)現状では他社においても他に有効な治療法も後期ステージのパイプラインも無いことから、当社は競争力をもって取り組めるターゲットであると考えております。上記の理由により、MDL-206 の開発を継続する意義及び価値は高いと考え、当社として独自に開発を継続する決断をして自社モデルパイプラインに追加することといたしました。MDL-206 は引き続き他の自社モデルパイプラインと同様に当社独自で研究開発を継続的に進めつつ、並行して新たなパートナー企業を探していく所存であります。

上記の MDL-206 を自社モデルパイプラインに加えることで、当社の自社モデルパイプラインは4品となり、協業モデルパイプラインの4品と併せて合計8品のパイプラインを有することになります。

なお、本件による、2021年12月期の当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。

コード	疾患名 /疾患領域 ^{*1}	パートナー	ストラクチャー	初期開発/前臨床		臨床試験		
				探索/研究/前臨床	IND	第I相	第II相	第III相
MDL-201	筋肉	アステラス製薬	ライセンス	→		協業モデル		
MDL-202	筋肉	アステラス製薬	ライセンス	→				
MDL-204	中枢神経	アステラス製薬	共同研究開発	→				
MDL-205	中枢神経	エーザイ	共同研究開発	→				
MDL-101	MDC1A ^{*2}	自社	自社	→		自社モデル		
MDL-102	中枢神経	自社	自社	→				
MDL-104	タウオバチー ^{*3}	自社	自社	→				
MDL-206	エンジェルマン症候群	自社	自社	→				

パイプラインの拡張

*1: 具体的な適応疾患名は、出願した特許が公開されるまでは競争上の理由から非開示とする戦略を採用しており、また協業モデルパイプラインは契約上で原則非開示とされているため、記載していません

*2: MDC1A=先天性筋ジストロフィー1A型

*3: タウタンパク質による神経原線維変化。アルツハイマー病との相関が示唆されている。

以上